

NPO 法人近畿水の塾

2018 年度事業詳細報告

2019 年 6 月

継続的な公開研究会『河川塾』の実施

1. はじめに

2000年(平成12年)9月に八幡市で開催した「川に学ぶシンポジウム in 近畿」の後、実行委員が川に関する人のネットワークの継続や知識の習得を兼ねて、摂南大学澤井教授を中心にスタートし、2002年(平成14年)年8月よりNPO法人近畿水の塾事業の一つとして継続している。

2. 実施内容

河川を楽しく、幅広く、実験・具体例(フィールドとしてピオトープづくりや河川蛇行実験など)を併せて判りやすく学ぶこと、様々なセクターからの受講生が時の話題・情報を提供する。

第1回は2000年11月に始まり、2019年6月の総会記念講演で195回を迎える。受講生は、学生・行政担当者・コンサルタント・市民など会員及びその紹介を受けたもので、2000、2001年は河川の基礎工学シリーズ、特別フィールドシリーズ(ワーキング)、2002年はマイリバーシリーズ、2003年は河川関連法(自然再生から淀川を例とした河川整備計画)、2004年は淀川の整備計画と水資源、付替え300年を経た大和川など、2005年は琵琶湖・淀川、都市と農、市民参加型公共事業など、2006、2007年はマイジョブ&リバーとして会員の仕事と川への関りなど、2008年はマイジョブ&リバー、流域委員会シリーズ、古老に聞くシリーズ、2009年はマイジョブ&リバー、番外編を中心に10年を経て第100回記念企画、2010年はマイジョブ&リバー、流域委員会シリーズ、2011年からはマイジョブ&リバーなどを中心に展開し、また参加費(資料代)を会員外500円、会員無料とし参加の枠を広げている。

当初は河川情報センター6F会議室をお借りし、平成17年からは大阪府環境情報プラザ、平成28年からは主会場を天神橋3丁目のAtelier CKに移し開催している。

回	月/日	内容
184	2018 6/20	釣り人による清掃活動を行う理由(わけ)～他府県よりびわ湖に集う釣り人が地域・自然・次世代との架け橋になるため活動～津熊操(淡海を守る釣り人の会代表)
185	7/18	コミュニティの仕事とボランティアの現場から 久保田洋一(理事、㈱関西総合研究所研究フェロー)
186	8/17	ブラジル・オーストリアの小水力発電所を訪ねて 竹尾敬三(会員、関西広域小水力利用推進協議会理事、アサンテ環境研究所代表)
187	9/19	異常洪水時のダムの操作等について 北牧正之(会員、(独)水資源機構川上ダム建設所所長)
188	10/17	ヒマラヤの河川は国を豊かにする/プータンの挑戦 松原保(映像制作プロダクション「パワーアイ」代表)

189	11/21	農業委員会の仕事など 西河嗣郎(理事、堺市農業委員会事務局長ほか)
190	2019 1/23	農業委員会の仕事など(続編) 西河嗣郎(理事、堺市農業委員会事務局長ほか)
191	2/20	第11回いい川・いい川づくりワークショップin北海道十勝に参加して 竹井隆英(ねや川水辺クラブ会長、小学校教員)、福廣勝介(代表理事、全国水環境交流会理事ほか)
192	3/22	山の楽しみ方 阿部仁志(会員、日本岳友会会員、都市再生機構職員)
193	4/22	動物園から緑のまちづくりへ 若生謙二(大阪芸術大学教授、ヒトと動物の関係学会会長、日本展示学会会長)
194	5/15	なんてきれいな落とし物・・・野鳥の羽根の魅力 寺川裕子(会員、NPO法人里山倶楽部 理事、NPO法人共生の森 副理事長ほか)
195	6/29	(拡大版)第18期総会記念講演(尼崎市中小企業センター) 3/29に再建された尼崎城について、及び周辺散策 安田博之(理事、尼崎市教育委員会社会教育部長ほか)

3. 成果

近畿における川や水辺に関する知識に留まらず多角的な知識を得、時の情報を共有でき、また各地での活動を知り、様々な個人・団体との交流が図れた。

4. 今後の課題

- ・事前に講座・フィールドの希望内容を会員より収集
 - ・会員・受講生より得た情報などから、不定期に新たな知見を得られるシリーズ(フィールド・講座)の設置
 - ・二級河川の流域連携
- など、新年度に向けた内容等を検討する必要がある。

5. その他

- 今後の具体の予定として、
- ・マイリバーを継続して、情報を蓄積し交流を図り、またこれらを紹介しながら川の評価基準により表彰する
 - ・河川踏査、写真・資料収集等
 - ・干潟事例報告、提案
 - ・環境学習の検討報告
 - ・河川で合宿 フィールドワーク
- ・2019年度秋には200回を迎える見込みであることから、記念講演などの事業開催などを検討中である。

(報告 西河嗣郎)

(2) 人と水との関わりに係る事業の企画及び実施

近畿水環境交流会 in 淀川・点野

■日時：平成 30(2018)年 8 月 4 日(土)～8 月 5 日(日)

■場所：寝屋川市内摂南大学及び淀川点野地域

■8月4日(1日目) 9:30～受付

近畿水環境交流会 in 淀川・点野は、摂南大学と淀川点野の河川敷にて、「近畿子どもの水辺大阪交流会」、「淀川まるごと体験会」と共同開催で実施されました。

■「近畿子どもの水辺大阪交流会」：午前の部

大阪府河川室西海さん：平成 19 年から 28 年まで継続、29 年度は展示会になり、今年は共催になった。

■滋賀県立大学北野さん：以下の 9 団体から活動紹介。

①TANAKAMI こども環境クラブ（滋賀県）

40 人ほどでメダカなどたんぼごとの生き物調査、ゴミ拾い、水源訪問、昔の水遊びの聞き取りなど。

②京都市立池田小学校

山科川をゴミ、水質、生物、植物の 4 つのグループに分かれて調査。ゴミはレジ袋など。意外に水はきれい。ポスター作成。発表会した。

③京都市立春日野小学校（先生が発表）

学校司書の協力を得て、資料を作成、図書館に提出。生物調査も実施。合場川はややきれいな川だった。来年度学習する 4 年生も発表。

④明日香村立聖徳中学校

飛鳥川上流はきれい。コオイムシ、タガメを育てる。えさはザリガニなど。室内での養殖。飼育して貴重な体験だった。活動している高校に行きたい。

⑤大和川市民ネットワーク（美濃原さん）

大和川クラブの報告。海に近い活動でネットワークに重点。プラスチックを使わない啓発など。石川でアユの魚道づくりを実施。秋の水辺まつりも実施。

⑥男里川水系環境保全活動実行委員会（辻山さん）

泉南市にある川。源流は和歌山。30 平方キロの流域面積。8 月 11 日山の日イベント。汽水域。魚にさわってもらう。最近では大型生き物が減っている。

・パケットテスト：試薬取り扱い基準が厳しくなった。

これからは新しい試薬でよろしく。

⑦玉一アクアリウム（神戸市）小学生 2 名と引率 1 名

玉津第 1 小学校。週 1 回活動。外来種を食べて命のリレーをする。12 年前から。ブルーギルカラアゲ、アメリカザリガニは 30 分以上ゆでる。オオキンケイギクのテンプラも美味しい。観察続けたい。

⑧福田川子どもボランティアフクレンジャー（神戸市：市川さん）

神戸の川。上流はため池。標高 100m。河口から 10 キロでもイワシ、ハゼもいる。ゴミ拾いの呼びかけは子どもから。ゴミを 1 回でも拾ってもらう。

⑨淀川まるごと体験実行委員会 摂南大学山内さん

点野水辺プロジェクト：ワークショップ開催中。明

日 5 日、まるごと体験会エクセディさんも出る予定。地引き網は中止。石ころアート、よし笛づくりなど。

■「近畿水環境交流会 in 淀川・点野：午後の部

■澤井実行委員長あいさつ：近畿子どもの水辺大阪交流会を午前中実施した。水環境交流会は 1999 年から開始して 20 年になる。今年は子どもの水辺を復活させたかった。9 団体から参加いただき、すばらしさと情熱を感じた。大阪府・寝屋川市・摂南大学に感謝。地震もあり、水害もあった。安全管理はきわめて重要。水難事故から熱中症対策も重要になってきた。企業の参加も大切。

■摂南大学学長八木紀一郎さん、寝屋川市長北川法夫さんあいさつ。

■午後の部「近畿水環境交流会 in 淀川・点野」

・澤井実行委員長あいさつ。災害が大きくなっている。市民行政がいかにかわるか、タイムラインというテーマがある。

■シンポジウム

・石中さん進行。

講演 1：近畿地方整備局 水災害対策専門官 林貴宏
真備地区、要援護者は把握していたが、対応できなかった。総社市は避難訓練しており、死者ゼロ。2011 年紀伊半島水害にあった防災士の投稿を機に、2017 年水防法が改定された。1 回に非常に激しい雨が降ることが増加。一方雨の降る日数は減少。避難情報は 2016 年福祉施設らんらんの施設の被害の後、水防法に高齢者避難という表現ができた。自治体が施設計画をつくる。防災士教育も。東日本大震災では、釜石で中学生が避難リードした。マイクロバスで逃げて被害にあう例もあった。「津波てんでんこ」も大切。現場で自主防災を考える流れに。

講演 2：田村友秀 福井河川国道事務所 副所長

下館河川事務所がタイムラインを設定。防災行動計画と呼べるもの。「マイタイムライン逃げ遅れゼロをめざして」。福井市の新種池町ではドラゴンリバー交流会が水路樋門の操作を市から委託されている。

ステップ 1：リスクを知る。マップの理解を深める。

気象情報の理解も。

ステップ 2：自らの行動を想定する。避難場所の情報も理解をする。ハザードマップで浸水区域を知る。

ステップ 3：マイタイムライン作成。

質問形式で情報も確認。避難するかどうか。いつ避難するか。注意点などまとめる。河川流域での開催要望に応える。運営の簡素化。動画で説明。シールを貼る。など。得意分野の連携で効果的な運営

・行政が地域のリスクを紹介

・防災士が逃げ方のアドバイス

・NPO が地域や関係機関との橋渡し

問：皆が逃げたら誰がこの地区を守るのか？

答：”自分や家族”を守る人が”地域”を守る。

■坂本真里さん：大阪市北区で活動。防災意識が高まるのは子どもが生まれた時。そこを外さないようにしている。学校も防災計画たてる。タイムラインという言葉は分かりやすい。防災士の知名度も今は低い。水防団はお金は支給されるが防災士は無償。

■BY ネット 仁枝洋：日本に住むと災害に出会うという教育も必要。マイタイムラインで、指定範囲が250mから25mメッシュになった。学区ごとにまち歩き実施。マップを全戸配布など。

■活動団体紹介（詳細略）

- ・淀川河川事務所河川公園課長 出口義治
 - ・NPO 法人瀬田川リバプレン隊 中谷恵剛
 - ・やましろ里山の会 山村武正：
 - ・芥川・ひとと魚にやさしい川づくりネットワーク 山崎文男
 - ・近畿子どもの水辺ネットワーク 辻山正甫
- 共立理化学研究所の今田さんから、パックテストの試薬が変わったという紹介。

■8月5日（2日目） 9:00～受付

点野地区において、河岸清掃から始まり、カヌー、E ボート体験、新しい試薬を利用した水質調査などを行ない、恒例の E ボートレースを実施しました。暑さ対策もしましたが、かなりの猛暑となり、早めに切り上げて終了しました。2019年は7月27日（土）、28日（日）に宇治川・伏見みなとで開催予定です。（報告 久保田洋一・石田裕子）



1日目。会場は摂南大学11号館。午前中近畿子どもの水辺大阪交流会を実施しました。



午後の水環境交流会にて、昨年の台風の際、日吉ダムの操作や防災対策によって、嵐山の被害が軽減されたという説明もありました。



2日目、淀川まるごと体験会と同時開催でした。子どもたちがEボート体験などをしました。



パックテストは新しい試薬を使用することに。



大阪府からはヤギも登場。



西寝屋川高校生徒による芝人形づくりや、ヨシ利用の紙漉きなどもありました。



Eボートレースの様子です。

ホームページの作成・更新等についての事業報告

1. はじめに

当会では平成 14 年 9 月 15 日にホームページを立ち上げ、会の概要、入会方法、事業内容、活動報告などを公開している。

また、会員はメーリングリストに登録し、会員間の情報交換を常に行っている。

2. 実施内容

ホームページの内容は以下のとおり

- (1) 当会の概要等
 - ・ 入会方法
 - ・ 設立の経緯、総会資料
 - ・ 会員紹介のコーナー など
- (2) イベント情報
 - ・ 当会主催のイベント案内
 - ・ 河川塾案内
 - ・ 他団体のイベント案内
- (3) 活動報告
 - ・ 当会の活動報告
 - ・ 新聞記事掲載
- (4) リンク集
 - ・ 水環境等の市民団体等のリンク集

3. 成果

随時更新を行い、常に最新情報を発信した。過去の報告も掲載しているので、会員の資料室としての利用もされている。総会資料についても掲載している。

なお、開設当初から利用していた Yahoo!ジオシティーズサービスが平成 31 年 3 月末で終了なので、平成 30 年 12 月 29 日に以下のサーバーに引っ越した。

<http://kmizunojuku.kachoufuugetu.net/>

4. 今後の課題

- ・ イベントの案内だけでなく、川に関わる活動をしている団体や個人の紹介をするなど内容充実を目指す。
- ・ 他のホームページにリンクしてもらい広く閲覧してもらおうように工夫する。

<http://kmizunojuku.kachoufuugetu.net/>
ブックマーク、名刺に印刷をお願いします。

(報告者：安田 博之)

河川塾開催一覧

会場:河川情報センター6F会議室(～第49回)、環境情報プラザ(～第164回)、Atelier CK(163,165回～) 2019/6/29現在

回	日時	講師 & テーマ
第1回	平成12年 11月30日(木)	第1限一定例講義一(澤井)「河川学原論」その1 『河川とは、「望ましい」川の姿』 第2限一川の情報交換一(白木)『澤井先生のマイリバー 日野川』 大阪府での『水辺の学校』、『流域懇談会』開催状況(野添) 『よこはま かわを考える会ニュース』の紹介(福廣)
第2回	12月21日(木)	第1限一新シリーズ報告「近畿の川～探訪～」番外編『木曾川 自然共生研究センターと河川環境楽園』 第2限一定例講義一(澤井)「河川学原論」その2『流域と氾濫域、川の定量的な捉え方』 第3限一川のなんでも情報交換会一話題提供 「川に学ぶ」シンポジウムin近畿(足立)『川のなんでも市』のふりかえり 河川審議会計画部会中間答申(勝山) 「流域での対応を含む効果的な治水のあり方」 平成12年度大阪府河川協会講演会の開催について(野添)
第3回	平成13年 1月18日(木)	第1限一シリーズ報告「近畿の川～探訪～」『春木川・津田川と近木川』 第2限一定例講義一(澤井)「河川学原論」その3『普段の川ー現実の川における問題点』 第3限一特別講義一水資源開発公団(福田)『河川災害について』 第4限一川のなんでも情報交換会一 『流域での対応を含む効果的な治水の在り方について』(西下) 『石川で遊ぶ バードウォッチング in 石川』(勝山)
第4回	2月15日(木)	第1限一シリーズ報告「近畿の川～探訪～」 『澤井先生のマイリバー＝日野川の池作りに参加してきました』 第2限一徹底討論一『マイリバーとの関わり … 日野川の池作りを例として』 第3限一川のなんでも情報交換会一 『第4回淀川討論会』のお知らせ(2/24)(澤井) 『進めよう、いのちあふれる都市づくり～神戸地域生物多様性保全シンポジウム～』のお知らせ(2/24)(安田) 『春木川・轟川市民のつどい』のお知らせ(3/4)(白木江都子) 『川の世界 加古川』加古川を題材にした総合学習の副読本のご提供(田中)
第5回	3月15日(木)	第1限一自習一(澤井先生定例講義休講のため) 「川のH条件」森下郁子 他/著『陸水生態学からの提言』～魚の「すめる」川から魚の「すむ」川へ 第2限一シリーズ報告「近畿の川～探訪～」『南河内 石川』
第6回	4月19日(木)	第1限一 情報提供 一 (木村) 報告「近畿 川ものがたり」 第2限一 定例講義 一 「河川工学」基礎編(澤井)河道の中の流れについて 第3限 「川と人とのつきあい方」 第4限 「河川に関するQ&A」 第5限 一 話題提供 一 (岡田)「Landscape Kansai」(春号)
第7回	5月15日(火)	第1限一 定例講義 一 「河川工学」基礎編2 ～土砂が動く～ 第2限一 Q&Aコーナー及び情報交換 一
第8回	6月19日(火)	第1限一 定例講義 一 『河川工学』基礎編-3 第2限 「川に関するQ&A」「川のお悩み相談室」「情報提供」
第9回	7月17日(火)	第1限「赤目エコリゾート」合宿の報告 第2限澤井塾 小学校3年生に対する授業メモを元に意見交換会 第3限春木川の河川改修 第4限その他
第10回	9月8日(土) 名張 土谷邸	8月21日(火)台風11号のため、中止となり9月8日が第10回となる (1)澤井先生の『Eポート』 【川に学ぶ!】 ①「シンポ1周年!」 ②「シンポふりかえり!」
第11回	10月16日(火)	第1限 一 情報提供 一 『川に学ぶ体験活動発表交流会について』川に学ぶ」シンポふりかえり等 (参加者の中での自由なフリートークの時間)
第12回	11月20日(火)	第1限一シリーズ報告「近畿の川～探訪～」『河内ー長瀬川』 第2限一定例講義一『河川工学』基礎編-4 (澤井)

河川塾開催一覧

会場:河川情報センター6F会議室(～第49回)、環境情報プラザ(～第164回)、Atelier CK(163,165回～) 2019/6/29現在

回	日時	講師 & テーマ
第13回	12月18日(火)	座談会+忘年会
第14回	平成14年 1月22日 (火)	第1限—シリーズ— 「近畿の川～探訪」 『泉州 榎尾川』 第2限—定例講義— 『河川工学』(澤井)
第15回	2月19日(火)	フリータイム 『川』のおしゃべりタイム(情報交換) 第1限—定例講義— 『河川工学』(澤井) 第2限 「私の好きな川、嫌いな川アンケート」
第16回	3月13日(水)	— いってらっしゃい、土谷さん! — 大々壮行会 主 催: (仮称) 『近畿水環境ネットワーク』準備会
第17回	4月17日(水)	※4月から第3水曜日に変更いたしました 新シリーズ 『マイリバー紹介』 堺市 土居川(その1) (西河)
第18回	5月22日(水)	新シリーズ— プレゼンテーション — 『マイリバー紹介』 堺市 土居川(その2) (西河) 第1限—フリーディスカッション— 『土居川について』 第2限— 講 評 — 『川の学校』(澤井)
第19回	6月19日(水)	新シリーズ— プレゼン— 『マイリバー紹介』 堺市 土居川(その3) (西河) 第1限—フリーディスカッション— 『土居川について』 第2限— 講 評 — 『川の学校 土居川編』(澤井)
第20回	7月17日(水)	シリーズ— プレゼン— 『マイリバー紹介』 三重 名張川(その1) — (川上・福廣) 第1限—フリーディスカッション— 『名張川について』 第2限— 講 評 — 『川の学校 名張川編』(澤井)
第21回	9月18日(水)	シリーズ— プレゼンテーション— 『マイリバー紹介』 三重 名張川(その2) — (川上・福廣) 第1限—フリーディスカッション— 『名張川について』 第2限—報 告 会 — 「川の日ワークショップ」 グランプリ—寝屋川再生ワークショップ(澤井) 準グランプリ—牛滝川(野添)
第22回	10月16日 (水)	シリーズ— プレゼンテーション — 「NPO法人 近畿水の塾」 — 理事長 福廣さん 副理事長 澤井さん 第1限—報 告 会 1 — 「大阪 川めぐり」(古川) 第2限—報 告 会 2 — 『第2回川に学ぶ体験活動発表交流会in北九州』(川上)
第23回	11月20日(水)	第1限— シリーズ マイリバー紹介 「近木川 汽水ワンド」(白木) 第2限— 報 告 会 — 『第2回川に学ぶ体験活動発表交流会in北九州』(福廣)
第24回	12月18日(水)	—特別シリーズ 流域間交流会 — 「大阪府 石川と近木川」(寺川・白木) 川における市民と行政の協働とは?・・・ミニワークショップ開催
第25回	平成15年 1月13日(月祝)	— 河川塾フィールドワーク — 「大阪府 石川」— (勝山) 石川流域講座生との意見交換会
第26回	2月16日(日)	— 河川塾フィールドワーク — 「大阪府 近木川」— (白木)
第27回	3月12日(水)	— マイリバーふりかえり — 九州川の日ワークショップ松浦川の報告(福廣)
第28回	4月16日(水)	— 河川関連法についての自主学習 — 「自然再生法ってどんななん?」 — レポート — 「淀川 平成ワンドと木工沈床工」
第29回	5月21日(水)	— 河川関連法についての学習会 — 第1限— 講義— 「自然再生推進法の解説」 講師: 大阪府環境農林水産部 池口主査 第2限 全体討論会 「自然再生推進法とは?」
第30回	6月18日(水)	— 「水辺空間と人の関わり」— 京都造形芸術大学 学生チームの木津川精華町での調査発表会(下村)
第31回	7月16日(水)	— 「近木川 自然再生事業」— 大阪府貝塚市近木川での自然再生事業に向けての課題・取組み方(白木)
第32回	8月20日(水)	— 「近木川 自然再生事業」— 大阪府貝塚市近木川での自然再生事業に向けての課題・取組み方(澤井)
第33回	9月17日(水)	第1限「近木川」 第2限「私の水辺」大発表会2003～水辺や水辺活動の評価手法、評価基準を考える～

河川塾開催一覧

会場:河川情報センター6F会議室(～第49回)、環境情報プラザ(～第164回)、Atelier CK(163,165回～) 2019/6/29現在

回	日時	講師 & テーマ
第34回	10月15日(水)	第1限-第4回全国源流シンポジウム in 高津川大会- 報告(福広) 第2限-マイリバー紹介- 尼崎市「庄下川」- (安田)
第35回	11月22日(土)	リバーウォッチング庄下川 よみがえれ庄下川～川・人・街の風景～ (午後1時～5時)
第36回	12月17日(水)	一北桂川の流域見聞について- (下村)
第37回	平成16年 1月21日(水)	流域委員会シリーズ-淀川水系流域委員会「意見書」を読む- ～淀川河川整備計画基礎原案から(1)～(澤井)
第38回	2月18日(水)	流域委員会シリーズ-淀川水系流域委員会「意見書」を読む- ～淀川河川整備計画基礎原案から(2)～(澤井)
第39回	3月17日(水)	一河川塾フィールドワーク- 摂南大学実験視察 ～近木川汽水ワンド実験～
第40回	4月21日(水)	流域委員会シリーズ-淀川水系河川整備計画策定について ～流域委員会の活動について(1)～(川上)
第41回	5月19日(水)	マイリバー 寝屋川再生ワークショップからの報告 (上田、澤井、久保田)
第42回	6月16日(水)	流域委員会シリーズ-淀川水系河川整備計画策定について ～流域委員会の活動について(2)～(川上)
第43回	7月21日(水)	シリーズ-大和川を語る ～都市河川としての大和川の過去・現在・未来～(角野)
第44回	8月18日(水)	レポート ①大和川・淀川流域連携水環境交流会2004 ②新潟・福井水害
第45回	9月15日(水)	歴史と文化の中の川づくりを考える ～近畿水の塾への期待、役割～(角野)
第46回	11月17日(水)	水資源と環境 ～淀川水系の水資源の量と質～(大阪府立大学荻野教授) ※10/20の河川塾は台風23号の接近で中止になりました。(被害を受けられた皆さまには心よりお見舞い申し上げます。)
第47回	12月15日(水)	シリーズ NPO活動と市民協働の実態 ～三島ランドワークにおける政策自主研究報告(速見)
第48回	平成17年 1月19日(水)	シリーズ NPO活動と市民協働の実態 ～NPO法人里山倶楽部の紹介～(寺川)
第49回	2月17日(木)	シリーズ 堺7-3区共生の森の活動紹介(速水)
第50回	3月16日(水)	シリーズ 浜寺水路でのコンブ育成実験(前田)
第51回	4月27日(水)	シリーズ おおさかレインボウプロジェクト ～雨みずからはじめる豊かなまち～(足立)
第52回	6月22日(水)	シリーズ 都市と農の共生する地域 (まち)づくり都共生ネットこうべ(非営利組織) 本位田 有恒氏
第53回	8月31日(水)	流域委員会シリーズ 淀川水系流域委員会からの報告(澤井)
第54回	9月28日(水)	シリーズ 寝屋川再生ワークショップからの報告(久保田、澤井)
第55回	10月26日 (水)	流域委員会シリーズ 淀川水系流域委員会からの報告(その2)(澤井) 於:琵琶湖・淀川水質保全機構(BYQ)4階会議室
第56回	11月26日 (土)	一河川塾フィールドワーク- ～寝屋川駅前せせらぎ広場と点野ワークショップ見学～(上田、澤井)
第57回	12月27日 (火)	レポート 都市のウォータースケープ計画に関する国際ワークショップ ～水によみがえる懐かしい未来都市 堺～(久保田)
第58回	平成18年 1月25日 (水)	マイジョブ&マイリバー 水の家からウォーターサロンへ BUD代表 上岡康宣氏 於:ウォーターサロン
第59回	2月22日(水)	シリーズ 琵琶湖・淀川水系での水環境保全 ～BYQの取組みについて～(河野) 於:琵琶湖・淀川水質保全機構(BYQ)4階会議室
第60回	3月22日(水)	近畿水の塾や河川塾の一年をふりかえるワークショップ ファシリテーター:久保田洋一

河川塾開催一覧

会場:河川情報センター6F会議室(～第49回)、環境情報プラザ(～第164回)、Atelier CK(163,165回～) 2019/6/29現在

回	日時	講師 & テーマ
第61回	4月25日(火)	マイジョブ&マイリバー 水と人と自然 竹尾敬三
第62回	6月28日(水)	流域委員会シリーズ 淀川水系流域委員会からの報告 ～河川整備計画基礎案に係る事業進捗状況の点検～ 澤井健二
第63回	7月27日(木)	シリーズ 芥川・ひとと魚にやさしい川づくりネットワーク」の取り組み TKK自然観察会代表 田口圭介氏、中山香代子
第64回	8月22日(火)	マイジョブ&マイリバー 日本とドイツの水の使い方の差、ヴァーチャル・ウォーター、 地球温暖化について 疋島巖
第65回	9月26日(火)	レポート 水郷・水都全国会議大阪大会から得たもの(ここだけの話) 久保田一、久保田洋一
第66回	10月24日(火)	マイジョブ&マイリバー 道頓堀川を中心として変わりはじめたミナミ 有限会社エイライン 横山 葵氏
第67回	11月29日(水)	マイジョブ&マイリバー 仕事の広がり、人つながりから 白木江都子
第68回	12月26日(火)	シリーズ 公共交通機関としてのLRTの可能性について 石塚昌志
第69回	平成19年 1月23日(火)	マイジョブ&マイリバー 環境調査の実状 米花正三
第70回	2月28日(水)	拡大版河川塾 LRT試験線(トランスロール)試乗、研修センター見学など 案内 石塚昌志
第71回	3月20日(火)	マイジョブ&マイリバー 真言宗醍醐派総本山「醍醐寺」全山改修30年計画 磯貝猛
第72回	4月26日(木)	マイジョブ&マイリバー 高瀬川のほとり 京都樽屋「樽徳」会長 宮本 博司
第73回	6月28日(木)	マイジョブ&マイリバー 自然と文化の森協会の活動紹介と猪名川自然林の植生調査から 白樫 誠治
第74回	8月28日(木)	マイジョブ&マイリバー 武庫川流域委員会での私の思い 松本 誠(武庫川流域委員会委員長)
第75回	9月25日(木)	マイジョブ&マイリバー NPO・行革と公益法人改革の流れから 末村 祐子(大阪経済大学客員教授)
第76回	10月23日(木)	マイジョブ&マイリバー 私の環境年表～行政経験を中心として～ 南 隆雄
第77回	11月27日(木)	マイジョブ&マイリバー 天若湖アートプロジェクト これまでとこれから 下村 泰史&さとうひさる(アートプランまぜまぜ)
第78回	12月25日(木)	マイジョブ&マイリバー マイリバーとマイチャリンコ 西村 浩一(毎日新聞編集委員)
第79回	平成20年 2月23日(土)	マイジョブ&マイリバー 指定管理者制度の功罪、今後のあるべき姿など 樋熊 浩明(西武造園株式会社) 於 アピオ大阪4階松の間
第80回	3月25日(火)	マイジョブ&マイリバー 寝屋川市における環境用水の可能性 山本 智志
第81回	4月23日(水)	マイジョブ&マイリバー 自然環境復元は、人間性の回復だ!! 前田 誠一郎 於 大阪駅前第2ビルキャンパスポート大阪
第82回	6月24日(火)	マイジョブ&マイリバー 川づくりの最前線 小俣 篤
第83回	7月22日(火)	流域委員会シリーズ 川への思いと企画シンポジウム「全国川シンポ」への期するもの、 広報 今本博健(京大名誉教授・元淀川水系流域委員会委員長)
第84回	9月6日(土)	古老に聞くシリーズ 第1回「おじいちゃんの仕事、おばあちゃんの暮らし」ヒアリング 名張市下比奈知鈴木幹子さん宅にて 鈴木幹子さん、紀さん、雄治さん
第85回	9月30日(火)	マイジョブ&マイリバー 上下流の住民交流の必要性について 久保田 洋一、寺川 裕子
第86回	10月21日(火)	流域委員会シリーズ 猪名川自然林の保存運動、流域委員会での経験特に一流域住民が流域委 員会に加わることの意味、藻川の堤防を考える会の活動など 細川 ゆう子氏(元淀川流域委員会)
第87回	12月22日(月)	マイジョブ&マイリバー 百姓見習い～ある都市農家長男による稲作記録の報告～ 安田 博之

河川塾開催一覧

会場:河川情報センター6F会議室(～第49回)、環境情報プラザ(～第164回)、Atelier CK(163,165回～) 2019/6/29現在

回	日時	講師 & テーマ
第88回	平成21年 1月27日(火)	マイジョブ&マイリバー 水と共に暮らす事の意味 福廣 勝介
第89回	2月24日(火)	マイジョブ&マイリバー 環境モデル都市・堺 船本 浩路
第90回	3月24日(火)	マイジョブ&マイリバー 数値解析による上野遊水地の洪水調節効果に関する研究、ボクの遊んだ川と田んぼ 村田 遼介
第91回	4月11日(土)	フィールド版河川塾 クールシティSakaiの関連計画の多い、堺市北西部のまちを見学 案内 西河 嗣郎
第92回	6月26日(金)	マイジョブ&マイリバー ピコ水力発電の現状 竹尾 敬三
第93回	7月21日(火)	マイジョブ&マイリバー 地域環境デザインとしての桂川流域ネットワーク 下村 泰史
第94回	8月20日(木)	マイジョブ&マイリバー 新たな公による地域づくり 石塚 昌志
第95回	9月29日(木)	マイジョブ&マイリバー 神戸つれづれエコアップ 田中 充
第96回	10月28日(水)	マイジョブ&マイリバー 低炭素社会に向け東吉野村と行う地域連携について 船本 浩路(堺市環境都市推進室)
第97回	11月24日(火)	マイジョブ&マイリバー 米国のダム撤去と日本初の赤谷ダム撤去、そして石津川 太田 勝之(リバーポリシーネットワーク代表)
第98回	12月19日(土)	(拡大版)(尼崎市立小田公民館) 宇根豊さんと映画「たんぼ」をみて農と自然を語る会 宇根 豊(農と自然の研究所代表理事)
第99回	平成22年 1月26日(火)	マイジョブ&マイリバー 滋賀県版治水政 瀧 健太郎(滋賀県流域治水政策室)
第101回	2月25日(木)	マイジョブ&マイリバー 古代大阪の治水事業 藤井 薫
第100回	3月27日(土)	(拡大版)(尼崎市立小田公民館) 河川塾100回記念 女性技術者の視点で語る「環境・河川」 瀧 健太郎(滋賀県流域治水政策室) 磯ちず子(横浜市)、田中秀子(国土交通省)
第102回	4月28日(木)	マイジョブ&マイリバー 植物と水環境、揖保川水系、趣味の話など 名部勇世(尼崎市)
第103回	6月23日(水)	流域委員会シリーズ 武庫川づくりと市民の関わり～武庫川流域委員会活動を通じて～ 田村博美(武庫川づくりと流域連携を進める会代表)
第104回	7月27日(火)	シリーズ 神戸市職員による住民活動例～住民参加から行政参加 高畑正
第105回	8月27日(金)	マイジョブ&マイリバー 瀬戸内海の祝島から改めて原発と最後に残された瀬戸内海の原風景を 考える 川崎良重
第106回	9月28日(火)	マイジョブ&マイリバー 尼崎21世紀の森づくりと「すき間緑化」～尼崎鉄工団地 みどりへの 挑戦～ 村上義徳(NPO法人尼崎21世紀の森理事)
第107回	10月28日(木)	マイジョブ&マイリバー 大阪ふれあいの水辺づくり事業から学ぶこと～生物多様性の個人的な 想いを踏まえて～ 足立崇博
第108回	11月26日(金)	シリーズ 大和川市民ネットワークの経緯と最近の状況 辰谷直子(大和川市民ネットワーク代 表)、新元秀(副代表)、小松清生(事務局長)ほか
第109回	12月22日(水)	マイジョブ&マイリバー 学生生活から、獣医師の職場や仕事内容など 山崎綱士(尼崎市動物 愛護センター)
第110回	平成23年 1月26日(水)	レポート 梅小路公園水族館計画の問題点と経緯について 下村泰史
第111回	2月22日(火)	マイジョブ&マイリバー 尼崎南部再生へ向けた取り組み 若狭健作(尼崎南部再生研究室、(株) 地域環境計画研究所)
第112回	3月23日(水)	マイジョブ&マイリバー マイリバーを語る。川との付き合い。水との付き合い。福廣勝介
第113回	4月25日(月)	ウズベキスタン報告 南隆雄

河川塾開催一覧

会場:河川情報センター6F会議室(～第49回)、環境情報プラザ(～第164回)、Atelier CK(163,165回～) 2019/6/29現在

回	日時	講師 & テーマ
第114回	6月29日(水)	国際無償援助 竹尾敬三
第115回	7月26日(火)	猟すること 西村浩一
第116回	8月25日(木)	放射線、フクシマを測定して 久保田洋一
第117回	9月20日(火)	一般廃棄物処理と発電 高野伸一郎(堺市環境局環境事業部クリーンセンター東工場)
第118回	10月25日(火)	大阪府中央卸売市場の役割(これまで～これから) 久保佳洋(大阪府中央卸売市場業務課)
第119回	11月25日(金)	ダムのご操作について 左近重信(水資源機構池田総合管理所)
第120回	12月3日(土)	拡大河川塾 於尼崎市立すこやかプラザ・ホール「柳川掘割物語」を広松伝さんの三大弟子と観る会! 山道省三(環境計画山道省三アトリエ代表)、田中秀子(筑後川水問題研究会)、山口徳雄(佐賀市)
第121回	平成24年 1月26日(木)	2011熊野水災一現地での体験と考察 辻井隆昭(地域循環システムデザイン研究所)於ドーンセンター4階中会議室
第122回	2月23日(木)	里山復元 中村伸之(有限会社ランドデザイン、立命館大学ほか非常勤講師、NPO法人京都景観フォーラム理事など)
第123回	3月23日(金)	映画「祝の島」鑑賞
第124回	4月26日(木)	魚を食らう(魚の味を科学する etc) 船本浩路(堺市、市民ボランティアネットワーク石津川に鮎を)
第125回	8月28日(火)	大阪ふれあいの水辺づくり事業、都市部における自然と触れ合える場の創出について 田淵敬一(大阪府河川室、淀川自然観察会(大阪自然環境保全協会))
第126回	9月25日(火)	里山再生住民活動について 小西一郎(ナシオン創造の森育成会会長)
第127回	10月23日(火)	生駒のみどりと私! ～市民有志による街なかの緑の現況調査、市街地の残したいみどり15選、里山ボランティア講座、『いこま宝の里』の三つの事業～ 磯貝猛(近畿水の塾理事、グリーンボランティアいこま宝の里会長)
第128回	11月27日(火)	水辺の20年を振り返って 大嶋範行(神戸市環境局環境評価共生推進室)
第129回	平成25年 1月22日(火)	琵琶湖の総合的な保全の推進 ～マザーレイク21計画に込めた思い～ 三和伸彦(滋賀県琵琶湖環境部琵琶湖政策課、タウン誌「長浜み～な」ボランティアライター)
第130回	3月26日(火)	尼崎市にも島がある「豆島」出会いプロジェクト 出本眞次(元カシオ計算機(株)、尼崎市自然と文化の森協会会員、藻川漁業協同組合員)
第131回	6月25日(火)	大和川市民ネットワークのよもやま話 辰谷直子(大和川市民ネットワーク副代表、ならコープ元理事)
第132回	7月18日(木)	里山&石川のネットワーク報告 ～チャリティネット森が好き!、南河内ほわ～っと流域ネットワーク～寺川裕子(会員、NPO法人里山倶楽部理事・事務局、石川自然クラブ事務局、NPO法人共生の森副理事長・事務局)
第133回	8月27日(火)	淀川愛好会の活動報告など 才野紅葉+田中宗繁(淀川愛好会、当会事務局、摂南大学理工学部都市環境工学科水辺環境創出研究室)
第134回	9月26日(木)	天若湖アートイベント 下村泰史(会員、京都造形芸術大学准教授、天若湖アートプロジェクト、NPO法人アート・プランまぜまぜ、瓜生山オーバートーン・アンサンブル)
第135回	10月29日(火)	神戸市西区での「田んぼの楽校」の取り組み～生きもの保全からムラの活性化へ～ 高畑正(神戸エコアップ研究会、農・都共生ネットこうべ他、神戸市職員)
第136回	11月27日(火)	スライド上映「子育てのまち京都の夏・地蔵盆」 神谷潔(スタジオ北山山荘)
第137回	平成26年 1月22日(水)	田口圭介(芥川倶楽部)

河川塾開催一覧

会場:河川情報センター6F会議室(～第49回)、環境情報プラザ(～第164回)、Atelier CK(163,165回～) 2019/6/29現在

回	日時	講師 & テーマ
第138回	2月26日(水)	福島北部・宮城南部の放射線測定2013 久保田洋一(理事)
第139回	3月26日(水)	近畿水の塾版最終講義「澤井河川塾」 澤井健二(事務局長、摂南大学)
第140回	4月20日(日)	観濠クルーズSakai 乗船(西河理事)と津波高潮ステーション見学会(大阪府西大阪治水事務所)
第141回	5月31日(土)	(小田公民館) 第13期総会記念講演 尼崎市におけるソーシャルビジネスの取組み 安田理事&立石孝裕(尼崎市役所) ソーシャルビジネスが社会を変える 能島裕介(NPO法人ブレンヒューマニティー理事長、尼崎市参与)
第142回	7月23日(水)	(菅家設計室) 佐賀市における地域密着した資源循環型下水処理のあゆみ(第15回日本水大賞未来開拓賞受賞プロジェクト) 山口徳雄(元佐賀市上下水道局下水浄化センター所長)
第143回	8月27日(水)	滋賀における地(知)の拠点 北井香(滋賀県立大学特別研究員)
第144回	9月24日(水)	鴨川景色40年「鴨川側景色の変遷」 神谷潔(スタジオ北山山荘)
第145回	10月22日(水)	米国ミシガン州の川事情を中心に、自然や社会について感じたこと 瀧健太郎(関西広域連合 本部事務局・滋賀県)
第146回	11月29日(土)	(小田公民館) (映画)越後奥三面 山に生かされた日々鑑賞 洪澤寿一
第147回	平成27年 1月28日(水)	写真による関西のごみ調査 神谷潔(スタジオ北山山荘)
第148回	2月25日(水)	学生の水辺活動の広がり 石田裕子(摂南大学理工学部都市環境工学科)
第149回	3月25日(水)	統合的流域管理 瀧健太郎(関西広域連合 本部事務局・滋賀県)
第150回	4月22日(水)	(菅家設計室) 楽しみながらの社会活動(建築家編)～東北の手しごと展/建築と子ども達(ワークショップ) 所千夏(アトリエCK主宰)、(助手)菅家克子(菅家建築設計室)
第151回	6月24日(水)	湖・公園・区画整理?場の公共性と歴史性 下村泰史(京都造形芸術大学准教・会員)
第152回	8月26日(水)	巨椋池ビオトープについて 北村美紗樹(摂南大学、近畿水の塾事務局)
第153回	9月30日(水)	ブラジルECOツアー「環境先進都市クリチバの現在と世界遺産イグアスの大自然」と中村轟さん訪問報告 高畑正(元神戸市職員、(公財)こうべ市民福祉振興協会、農・都共生ネットこうべ・神戸エコアップ研究会代表など)
第154回	10月28日(水)	宮津・竹の学校と手ぼうき 曾和治好(造園家、音楽家、京都造形芸術大学教授、CLAP環境計画研究所所長など)
第155回	11月24日(水)	私の環境仕事 南隆雄(大阪府職員)
第156回	平成28年 1月26日(火)	スケッチとまちづくり、武庫川がっこうの取組み 田村博美(宝塚むこスケッチ会、武庫川がっこうなど)
第157回	2月24日(水)	健全な自然が維持できる、懐かしい未来を創造する～ボランティアな活動仲間たちと、里山・里川保全・景観整備～ 崎谷久義(自然にみちた水辺づくりプロジェクト・太市の郷代表)
第158回	3月23日(水)	ひと咲きまち咲きあまがさき～尼崎市制100周年、これまでとこれからを環境の視点から～ 安田博之(近畿水の塾理事、尼崎市職員)
第159回	4月27日(水)	アユの遡上に河川再生の夢を託して～堺・石津川での活動から～ 船本浩路(市民ボランティアネットワーク石津川に鮎を、環境カウンセラー、森林インストラクター)
第160回	6月4日(土)	(小田公民館) 第15期(平成28年度)総会記念講演 全国の川の住民ネットワークとともに「いい川」を求めて! 山の道、川の道を歩く 山道省三(NPO法人多摩川センター・NPO法人全国水環境交流会代表理事など)

河川塾開催一覧

会場:河川情報センター6F会議室(～第49回)、環境情報プラザ(～第164回)、Atelier CK(163,165回～) 2019/6/29現在

回	日時	講師 & テーマ
第161回	5月25日(水)	中間支援組織・エコネット近畿の仕事 辻郁子(NPO法人エコネット近畿)
第162回	6月22日(水)	東日本大震災からの復興まちづくり ～復興は新しいステージへ～ 稲垣満宏(元UR宮城・福島震災復興支援本部長、現関西学研都市センター(株)参与)
第163回	7月28日(木)	地域をつなぐ、へんな音、不思議な響き」 下村泰史(京都造形芸術大学准教授・会員)
第164回	8月24日(水)	里山倶楽部 今どきの取組み・森の若者応援講座・クラウドファンディングで水道整備 寺川裕子(NPO法人里山倶楽部理事、事務局)
第165回	9月28日(水)	京都市電の写真とトーク 神谷潔(スタジオ北山山荘)
第166回	10月26日(水)	第16回川に学ぶ体験活動全国大会in琵琶湖・淀川流域圏から 久保田洋一(理事)
第167回	11月19日(土)	(拡大版)映画「柳川堀割物語」を観て語る、語る、語る。 摂南大学寝屋川キャンパス10号館3階にて
第168回	平成29年 1月24日(火)	鳥になりたい・川をとびたい 中村公一(木村加工所)
第169回	2月23日(木)	(卒論)寝屋川再生ワークショップ重点整備候補地における水生生物の生息状況および河川環境の現状把握 岡本健佑(事務局、摂南大学4回生石田ゼミ) (卒論)点野ワンドの魚類群集の季節変化 ～2014年から2016年の変遷～ 荻野恭輔(事務局、摂南大学4回生石田ゼミ)
第170回	3月22日(水)	福祉と環境に良いまちづくりを目指して 白樫誠治(理事)
第171回	4月26日(水)	原発のイロハ 久保田洋一(理事)
第172回	5月24日(水)	私の環境ボランティア 白樫誠治(理事)
第173回	6月24日(土)	(拡大版)第16期総会記念所上映会(尼崎市立すこやかプラザ) 「被ばく牛と生きる」 松原保監督と意見交換
第174回	7月24日(月)	「コスモス国際賞」を知っていますか?～知って得する「国際花博記念協会」の事業～ 田中充(会員、国際花と緑の博覧会記念協会専務理事)
第175回	8月30日(水)	海につながる山の話 天満和久(大阪自然史センター理事)
第176回	9月30日(土)	京都、町割の謎～知られざる『近代両側町』をめぐる 下村泰史(会員、京都造形芸術大学准教授)
第177回	10月24日(水)	都市を変える水辺アクション」 武田重昭(大阪府立大学大学院生命環境科学研究科助教)
第178回	11月22日(水)	あいな里山公園のめざすもの～国営公園としての里山のあり方を探る～ 高畑正(会員、元神戸市職員、国営あいな里山公園園長、農・都共生ネットこうべ代表・神戸エコアップ研究会代表ほか。所属環境再生医ほか) 高橋真理子(株)環境緑地研究所研究員、国営あいな里山公園環境学習担当。樹木医ほか)
第179回	平成30年 1月17日(水)	川遊びの自由と秩序について話そう! 福岡雅子(大阪工業大学工学部環境工学科准教授、カヌースラローム・カヌーワイルドウォーター競技公認A級審判ほか)

河川塾開催一覧

会場:河川情報センター6F会議室(～第49回)、環境情報プラザ(～第164回)、Atelier CK(163,165回～) 2019/6/29現在

回	日時	講師 & テーマ
第180回	2月28日(水)	(卒論)巨椋池を活用した三川合流域における生態系保全に関する研究 奥西健斗(事務局、摂南大学4回生石田ゼミ) (卒論)淀川・点野地区再整備に向けての水理学検討と市民活動の現状把握 山内将之(事務局、摂南大学4回生石田ゼミ)
第181回	3月31日(土)	(拡大版)武田重昭・杉本容子夫妻と大阪市内水路(東横堀川、堂島川、土佐堀川)を歩く・話す。そして旧川口居留地のワイキューブ・ラボ事務所兼自宅へ 杉本容子(㈱ワイキューブ・ラボ代表)、武田重昭(大阪府立大学大学院助教)
第182回	5月3日(木)	(拡大版)からつ七つの島の島おこしと、唐津での魅力的な暮らし～地域の活性化への挑戦～ 小峰朋子(監事、元大阪府職員、唐津市離島地域コーディネーター、からつ七つの島活性化協議会事務局長)、小峰政文(唐津市都市整備部建築住宅課副課長)、小峰恵里花(唐津東中2年)、小峰浩輔(打上小6年)
第183回	5月26日(土)	第17期総会記念落語会(尼崎市小田公民館) 社会人アマチュア落語家 五月家一平、満腹亭いち福
第184回	6月20日(水)	釣り人による清掃活動を行う理由(わけ)～他府県よりびわ湖に集う釣り人が地域・自然・次世代との架け橋になるため活動～ 津熊操(淡海を守る釣り人の会代表)
第185回	7月18日(水)	コミュニティの仕事とボランティアの現場から 久保田洋一(理事、㈱関西総合研究所研究フェロー)
第186回	8月17日(金)	ブラジル・オーストリアの小水力発電所を訪ねて 竹尾敬三(会員、関西広域小水力利用推進協議会理事、アサンテ環境研究所代表)
第187回	9月19日(水)	異常洪水時のダムの操作等について 北牧正之(会員、(独)水資源機構川上ダム建設所所長)
第188回	10月17日(水)	ヒマラヤの河川は国を豊かにする/ブータンの挑戦 松原保(映像制作プロダクション「パワーアイ」代表)
第189回	11月21日(水)	農業委員会の仕事など 西河嗣郎(理事、堺市農業委員会事務局長ほか)
第190回	2019年 1月23日(水)	農業委員会の仕事など(続編) 西河嗣郎(理事、堺市農業委員会事務局長ほか)
第191回	2月20日(水)	第11回いい川・いい川づくりワークショップin北海道十勝に参加して 竹井隆英(ねや川水辺クラブ会長、小学校教員) 福廣勝介(代表理事、全国水環境交流会理事ほか)
第192回	3月22日(金)	山の楽しみ方 阿部仁志(会員、日本岳友会会員、都市再生機構職員)
第193回	4月22日(金)	動物園から緑のまちづくりへ 若生謙二(大阪芸術大学教授、ヒトと動物の関係学会会長、日本展示学会会長)
第194回	5月15日(水)	なんてきれいな落とし物・・・野鳥の羽根の魅力 寺川裕子(会員、NPO法人里山倶楽部 理事、NPO法人共生の森 副理事長ほか)
第195回	6月29日(土)	(拡大版)第18期総会記念講演(尼崎市中小企業センター) 3/29に再建された尼崎城について、及び周辺散策 安田博之(理事、尼崎市教育委員会社会教育部長ほか)